

# 18 南相馬市立総合病院

URL : <http://resident-1.com/minami-soma/>



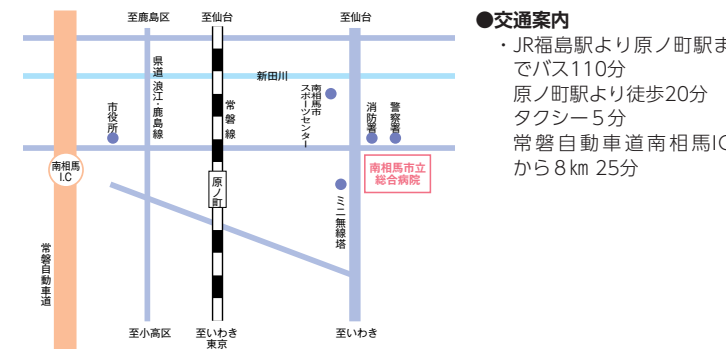
## 病院の概要

開設者：南相馬市長 桜井 勝延  
 病院長：金澤 幸夫  
 所在地：福島県南相馬市原町区高見町二丁目54番地の6

- 医師数：常勤…32名(研修医7名含む)、非常勤…8.1名 指導医…15名
- 診療科目：内科、循環器科、神経内科、呼吸器科、消化器科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、麻酔科、放射線科、小児外科、リウマチ科、腎臓内科、在宅診療科、心臓血管外科、心療内科、眼科
- 病床数：一般…230床
- 年間入院患者実数：2,800人
- 年間新外来患者数：10,469人
- 1日平均外来患者数：310人
- 年間救急車搬入患者数：1,311人
- 平均在院日数：17.5日



アクセス



## 臨床研修病院の理念

南相馬市立総合病院は、市民の健康を守り、かけがえのない生命の尊厳と人間愛を基本として患者との相互理解に基づき市民が健康で生き生きとして、幸せに暮らせる環境づくりをめざしています。

## 病院長メッセージ



震災、原発事故からもう5年になります。今も1万5千人の市民が避難を続けており、14歳以下の年少人口は震災前の9,761人から4,914人と半分に減少、65歳以上の割合が25.9%から33.6%に増加し、急速な高齢化が進んでいます。若者のこれ以上の流出を防ぐため産業の創出、小児科・産科医療を核とする医療の充実が必須ですが、なかなか進まない現実があります。また、仮設、借り上げ住宅には今も約7,400人の市民が居住しており、在宅診療、仮設住民の健康管理、内部被曝検診などの業務を継続しています。

当院は病床数230床と規模の小さな病院ですが、職員同士が顔の見える関係にあり、震災後、個性的で魅力ある医師が当院に集まってくれています。また、来年2月には脳卒中センターが完成予定で救急医療の充実を目指します。

平成25年4月から臨床研修が始まり、4名が卒業、現在7名が研修中です。(1年次3名、2年次4名)。また、災害医療の研修目的で、27年度は11名の研修医が南相馬を訪れています。

当院のプログラムの特徴は亀田総合病院の全面的支援を受けることです。具体的には研修医教育のノウハウの提供、亀田総合病院での4ヶ月間研修などです。また、通常の研修とともに、震災、原発事故に対する災害医療を現地で学べます。興味のある方はぜひ一度見学においでください。

## 研修医コメント



当院は、平成25年度に研修指定病院になりました。病床数は230床であり大きな病院ではありませんが指導医やスタッフとの距離が近く、顔の見える関係で研修できます。全国から研修医と学生が被災地医療や地域医療を学ぶために研修や見学にやってくるので、色々な出会いがあります。

南相馬市は震災後に、若い世代を中心に人口が減少したため高齢化が急速に進み、30%を超え、2030年代の日本の姿を先取りしているといわれています。まだ仮設住宅に住んでいる高齢者も多いため、各仮設住宅の集会所ごとに年に6回ほど健康支援やインフルエンザワクチン接種を行うなど、院外での研修もあります。

研修プログラムは11ヶ月間自由に選択できるのが特徴で、院内の科だけでなく協力病院も病院ごとの決められた期間以内で選択できます。当直は全科当直で1年目の場合17時から23時まで指導医と一緒に診察します。2年目は指導医の先生がバックアップに回り、研修医がファーストタッチし、診察と検査のオーダーを行い、治療方針を指導医に確認してもらいます。当院救急は二次救急なので適度な忙しさで、一般的な疾患も多く経験できます。

現在、脳卒中センターを建設中で、医局や研修医室もこちらに移動予定なので、より充実した研修生活を送れるようになります。興味のある方はぜひ一度見学にお越しください。

## 研修プログラムの特徴

- 地域の基幹病院  
相双地区の二次救急医療機関として多様な患者が集まり、プライマリ・ケアを学べます。
- 自由度を増した研修プログラム  
必修科目の内科6ヶ月、救急3ヶ月、地域医療1ヶ月、選択必修科目(外科、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科)から2科目以上(2ヶ月以上)、オリエンテーション1ヶ月、残り11ヶ月を選択としています。
- 協力病院の「亀田総合病院」「福島県立医科大学附属病院」「諏訪中央病院」等での研修  
亀田総合病院で3~4ヶ月間研修できます。
- 他研修病院の初期研修医との交流  
全国各地の研修医が当院で地域医療研修をしており、研修医のつながりや相互作用が生まれています。
- 小さい病院だからこそ実践できる丁寧な医療・研修  
診療科/職種間の垣根が低く、丁寧な医療と手厚い指導を受けられます。個人の目標や希望、能力に合わせた柔軟な研修ができます。
- 東日本大震災、原発事故の被災地にある病院  
仮設住宅に住む住民の健康管理、内部被曝検診など、災害時医療の研修ができます。

## 研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	オリエンテーション	内科	内科	内科	内科	内科	内科	救急	救急	救急	選択必修	選択必修
2年次	地域医療	選択	選択	選択	選択	選択	選択	選択	選択	選択	選択	選択

<協力病院・施設 亀田総合病院、福島県立医科大学附属病院、他 県内5件>

## 研修医の処遇

- 常勤・非常勤の別：常勤
- 研修手当(税込)  
1年次…662,500円  
2年次…728,750円  
当直手当…1年次2,000円、2年次10,000円
- 基本的な勤務時間：8：30～17：15  
休日…土曜日、日曜日、祝祭日
- 休暇  
有給休暇…1年次10日、2年次11日  
その他…夏季特別休暇3日、年末年始(12/29～1/3)
- 宿日直：4回～5回/月
- 社会保険/労働保険  
全国健康保険、厚生年金、労働災害保険、雇用保険
- 健康診断：1回/年
- 医師賠償責任保険：病院：加入 個人：任意
- 宿舍/住居手当：病院が用意した賃貸アパート(家賃の1割を自己負担)
- 女性医師支援取組：無

## 募集要項

募集定員：4人

- 必要書類：履歴書、卒業(見込み)証明書、成績証明書
- 選考方法：書類審査、面接
- 募集期間：9月下旬までの予定

〒975-0033 南相馬市原町区高見町二丁目54番地の6  
 事務課総務係(鈴木悦子)  
**TEL : 0244-22-3181(内203) FAX : 0244-22-8853**  
 E-mail : [sogo-hp-jimu@city.minamisoma.lg.jp](mailto:sogo-hp-jimu@city.minamisoma.lg.jp)



研修医



2年次研修医からのレクチャー



当直カンファレンス



脳外科ミニレクチャー